



静岡県地方版
第352号
2021-4-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18 早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

オリンピックのあり方について考える

県本部理事 下山 一美

現在、世界中に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、すでに感染者が全世界で一億三千万人を超え、284万人以上が亡くなっています。世界各国で移動や外出制限など、日常生活にも大きな支障が出るなか、東京オリンピックについて、アスリートも声を上げています。JOC理事でもある元柔道選手の山口香さんは、「世界の人がとが楽しいない状況で開催すべきでない」と勇気ある発言をしています。マラソンのメダリスト有森裕子さんは、「アスリートファーストじゃなく、社会ファースト。社会があつて、そのもとで人間がより健康に生きていくための手段としてスポーツがある。(オリンピックは)ちゃんとした社会と健全な人たちのもとで守られてきている」として、オリンピック優先ではなく人命第一で発言しています。これらは、まさに正論です。ところが、日本社会ではこうした発言が大きく取り上げられませんが、どのマスコミの世論調査でも、オリンピックの中止

や延期が過半数以上を占め、この夏に実施すべきは4分の1程度と明らかに少数です。それでも、コロナ禍での東京オリンピックについて、中止を求める発言は聞こえてきません。そうした中で、演出家の宮本亜門さんがテレビ番組で、「オリンピックは日本だけでなく世界のもの。日本から中止する意思を表明すべき。世界の感染状況を見て、国民の気持ちに切り裂かれちゃうんですよ。日本が勇気をもってNOということを期待したい」と発言。この勇気に拍手を送ります。

三月の福島県楡葉町を出發した聖火リレーが、今各地を巡っていますが、テレビが伝えないそのパレードの実際は、スポンサー企業の派手なコンボイ車列が大音量を響かせて通り過ぎた後に、ふとりレー走者が現れます。主客が入れ替わったこの状況は、今日のオリンピックの商業主義の象徴です。復興オリンピック、コロナに打ち勝つオリンピックなどの偽善的なスローガンはすでに見透かされています。菅政権により政治的に利用されている東京オリンピックは、勇気をもってNOと言いましょ。

(しもやま かずみ)

第八回県本部理事会を開催

4月13日、静岡県教育会館において第8回県本部理事会が理事13人の参加のもとに開催されました。

江川会長の「コロナ禍のもと、さまざまな問題が浮上するなかで、3月31日に開催された東海ブロック4県会長・事務局長会議をバネに『同盟躍進期間』を成功させよう」との開会あいさつに続いて山田副会長が情勢報告、早崎事務局長が活動のまとめと当面の課題について報告しました。

情勢報告では、1、新型コロナウイルス対策の新たな進展と今後の課題、2、際限なく広がる疑惑とデジタル関連法案の問題、3、国際情勢、4、県内情勢、5、野党共闘の強化と総選挙勝利について報告がされました。

変異ウイルスもあって感染が急拡大するも、モニタリング検査の規模拡大と対策、オリンピック・パラリンピック中止の決断が求められます。また「健康保険法改定案」「高齢者医療費2倍化法案や「医療法等改定案」「病床削減推進法案など許されるものではありません。

NTTによる総務省への接待問題、文科省の接待疑惑など官民癒着の実態が明らかになっています。このような中で個人情報を企業利益に活用し、プライバシー侵害の懸念がある「デジタル」5法案が強行されています。

国際情勢では、ミャンマー国軍による国民の平和的な抗議を武力で弾圧し七百人を超す死者をもたらしています。香港

の選挙制度改変による民主派の排除の問題も広がっています。

県内では、先の静岡市議選で共産党が改選3を4にして議案提案権を確立して前進の一步を築きました。4/25投票の参院長野選挙区補選、広島選挙区再選挙、衆院北海道2区補選が野党の共闘としてとりくまれており、来るべき総選挙に向けての重要な意味を持つ選挙になっています。

「同盟躍進期間」で500人会員の展望を

活動のまとめと今後の課題では、中部支部が200人会員実現で支部分割をはかる目標にあと一步に迫るなど牽引車の役割を引きつづき果たしています。5月末までの「総選挙勝利のための同盟躍進期間」のとりくみで会員拡大のとりくみを全支部運動にすることで500人の県同盟を実現していく展望を切り開いていく必要があります。コロナ禍のもとですが、電話での事前約束での訪問など声かけ対象を明確にして意識的などりくみを広げること

で必ず応えてくれる方が広がっていきます。自信をもって声かけができるよう、『治安維持法と現代』誌などを使った学習も引きつづき強め、国賠同盟の運動の意義と役割をしっかりとつかみながら進めましょう。

私と国賠同盟

西部支部 井嶋 秀介

二十年前(義父は30年前)に亡くなった私の妻の親・秩子と清一のことを想い出す。引越の後片づけを妻として江川佐一さんと山田巖さん、森下厚司さんの3人が訪ねて来てくれました。「同盟に入ってほしい」とのことでした。私が独身時代、静大生協に勤めていた頃、山田さんは『ガンちゃん』という学生自治会の委員長でした。そんな訳でその場で同盟に入会しました。

勉強不足で知りませんでした。同盟とは「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」なのです。

義父・鈴木清一は一九三八年、人民戦線事件で検挙、懲役2年(枝村三郎著「戦争史跡」)なのだそうです。

義母・秩子は実母のように私を大切にしてくれました。16歳の時、私の実家が父の商売の失敗により家・屋敷を失い一家6人が路頭に迷ったことなど、やさしく聞いてくれました。そんな義母が戦前の天皇制について話す時は別人でした。

「大正天皇は明治天皇が二位の局という低い女官に生ませた子供だ!」「お前、明治大帝は何人側室がいたのか知っていますか」オニの顔になりました。40年前の思い出です。

(浜松市南区・いじま しゅうすけ)

5/12の国会請願行動に向け署名の促進を

コロナ禍のもとですが、今年の国会請願行動は5月12日(水)に行なわれます。この行動に向け署名のとりくみを強めましょう。「不屈」の今月号に同封されている署名用紙も使って促進して下さい。いただいた署名は各支部かもしくは県本部事務局(帯封に住所と電話があります)までお届けください。

催し案内

◇静岡県母親大会の開催予定

○全体会

- ・日時:七月四日(日)午後四時~四時三十分
- ・会場:浜北文化センターまたはオンライン
- ・記念講演:「民主主義とメディア」望月衣迦子
- 分科会
- ・5~6月の間に、県内15か所に分散して実施

*お問合せ先:静岡県母親大会連絡会事務局

(電話:054-253-6081)

訃報

◇清水支部・高橋武夫さん、3月16日死去、89歳。

冥福をお祈りいたします。

会員拡大と国会請願署名到達

2021・4・13現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	1月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	1月到達	増分	現在到達	個人目標	1月到達	増分	現在到達
伊豆	30	22		22	6	50	7		7	350	20		20
沼駿	60	54		54	14	60	14	+6	20	800	148	+140	288
岳南	30	19	+1	20	6	40	21	+1	22	350	147	+5	152
清水	50	37	-1	36	12	60	18	+9	27	1,100	714	+304	1,018
静岡	50	36		36	2	80	14	+1	15	500	373	+55	428
中部	200	186	+7	193	36	100	25	+5	30	800	238	+28	266
西部	80	59	+3-2	60	2	80	7	+4	11	750	90	+52	142
県本部	-	-		-		30	12		12	350	11		11
合計	500	413	+11-3	421	78	500	118	+26	144	5,000	1,741	+584	2,325

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

○「ガーベラを思え」の本の母君に捧げる歌

幾星霜 大正昭和の 草創期
支え来られし 今をかみしむ

苦節耐え 歴史の道を守りぬき
幸せの園の いま花々の中

りと燃え 今年も咲きぬガーベラの
愛と勇氣に きらめきし日々

瀬戸川の 千本桜 果てもなく
君が護られし 故郷は萌ゆ

編集後記

静岡 松浦美智世

横湯園子著「ガーベラを思え—治安維持法時代の記憶」(1500円+税)
活動家であった著者の両親、芹沢総一郎・きみ夫妻と臨床心理学者の自身をモデルにした小説。松浦さんはきみさんと一緒に活動された方です。

▼変異ウイルスもあってコロナ感染が急拡大し第4波が到来しています。モニタリング検査の拡大と休業補償の対策、ワクチン接種などあらゆる手立てをとって蔓延を防止する必要があります。オリンピック開催中止の決断も求められます。
▼長期戦が求められるコロナ対応では、政府への信頼は不可欠です。そのためには国民の気持ちに本当に応えられる政府の実現が必要です。それを実現する機会が迫っています。 S・H